



## 札幌藻岩山スキー場における運営方針等

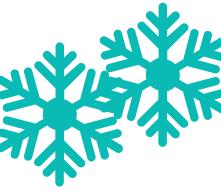
市民に生涯愛されるホームスキー場として  
都市の魅力を向上させる大切な観光資源として

【事業者】

住 所 札幌市中央区北1条東3丁目3番地

事業者名 北海道スクエア株式会社

代 表 者 代表取締役社長 勝木 征史



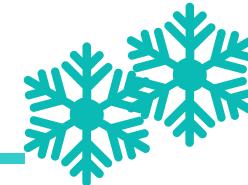
# 目次

Contents

- 1. 運営方針・地域貢献
  - (1) 運営方針・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - (2) 地域経済への貢献・・・・・・・・・・ 6
- 2. 事業計画等
  - (1) 施設リニューアルの考え方・・・・・・・・ 8
  - (2) スケジュールイメージ・・・・・・・・ 13



## 【1. 運営方針・地域貢献】



(1) 運営方針

市民スキー場

「市民に生涯愛されるホームスキー場」  
としての存在意義を守り、魅力を高めてまいります

札幌市内の小中学校スキー学習の場として、ファミリーや仲間と気軽に訪れることができる身近なゲレンデとして、そして生涯スポーツの場としての存在意義をさらに高め、市民にとってより楽しく、身近で、魅力的な場所をつくり上げます。

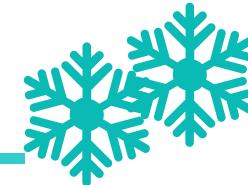
関連する実施検討項目
市民割引によるどの世代も利用しやすい料金設定
学校スキー授業の利便性向上
スノーボードも楽しめるスキー場への転換
コースレイアウト変更による利便性・魅力向上
リフトリニューアルによる利便性・安全性向上
ロッジの全面建て替えによる利便性・快適性向上
駐車場の混雑緩和施策の検討
受付窓口一本化・予約システム導入による利便性向上
DX対応の推進（場内Wi-Fi、オートゲート、電子マネー等）
ハード・ソフト両面のバリアフリー化
多様なニーズに対応するスキースクールの見直し
公式サイト・場内サイネージ・広報活動による情報提供
スキーをしない市民（保護者等）の快適性向上
利用期間の延長を実現する造雪システムの検討
グリーンシーズンの活用・魅力的なイベント運営

観光拠点

「札幌の魅力を増幅させる観光資源」  
としての役割を強化してまいります

札幌都心から約30分で訪れることができること、初心者にも優しいスキー場であることの利点を最大限に活かし、スキー経験が少ない観光客（特にアジア圏からのインバウンド）が気軽に訪れ、雪遊びやスキー、スノーボードを楽しんでいただける環境を整え、観光客の一層の取り込みを狙います。

関連する実施検討項目
未経験者向けエリアの再整備
初心者向けコースの利便性・魅力向上
レンタルシステムの再構築
レンタルコーナーの充実
インバウンド向けスキースクールの開設
場内案内の多言語化
藻岩山展望台・ロープウェイと連動した観光プラン
夜景と連動した観光プラン
多言語対応スキースクールの開講
クロスカントリーコースの新設
ウィンタースポーツの楽しみ方提案（シットスキー等）
多言語対応公式サイト・パンフレット等の整備
インバウンド向け観光プラン検討
旅行エージェントとの連携



## 札幌から「ウィンタースポーツの裾野を広げていく入口」的存在を目指します

ウィンタースポーツが市民や観光客にとってより身近なものとなるように、多様なウィンタースポーツが楽しめる環境を整えます。また、ウィンタースポーツ競技（パラ含む）のトレーニングができる環境整備も検討しており、札幌からウィンタースポーツの裾野を広げていく役割を担えるよう整備してまいります。

関連する実施検討項目
スノーボードの解禁
シットスキー等のレンタル、スクールの実施
ウィンタースポーツアスリートと連携したイベント開催
場内スタジオ・サイネージでウィンタースポーツ魅力発信
アスリート向けトレーニング場の提供（夏季）
パラスポーツに配慮したコース・ロッジ設計

## 「環境にも人にも優しい」スキー場づくりを目指します

- 雪解け水や雨水を利用した造雪システムや太陽光による自家発電システムの導入を検討しており、「環境首都・札幌」を掲げる札幌のサステナブルな街づくりに貢献していきます。
- バリアフリー化を促進し、誰もが安心して利用できる施設づくりを進めていきます。

関連する実施検討項目
造雪システム検討
貯水用溜池拡張の検討
太陽光発電システムの検討
ロッジおよびロッジ周りのバリアフリー化
バリアフリー教育の実施

## グリーンシーズンの積極活用で「1年を通して市民・観光客に愛される魅力的な場所」を目指します

グリーンシーズンのスキー場の活用、魅力化を積極的に行い、1年を通して「何か面白いことがある」、市民・観光客に愛される場所づくりを行います。

関連する実施検討項目
グリーンシーズン時のイベント企画・運営
グリーンシーズン時のイベント会場としての貸し出し
札幌のイベントと連動した取り組み

## 地場企業同士が連携し地域活性化、経済成長に貢献します

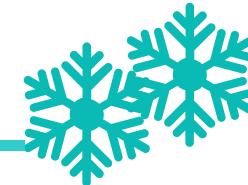
札幌地場の企業として、これまでも多くの地場企業とともに札幌、北海道の活性化に取り組んできました。藻岩山スキー場運営においても、そのネットワークと経験を存分に活かし、地場企業と積極的に連携し札幌の価値をとともに創造、発信してまいります。

関連する実施検討項目
地場企業と連携したレストラン運営
地場企業と連携した新たなサービス展開
地場企業と連携したグリーンシーズンイベント運営

## 効果的なプロモーションや地場企業とのコラボレーションにより認知度・ブランド力を向上し集客力を高めます

市民、観光客に対し効果的なプロモーションを実施するとともに、地場企業と連携した多様な取り組み（情報発信・イベント等）を積極的に実施し、藻岩山スキー場の認知度・ブランド力向上、集客力向上を推進していきます。

関連する実施検討項目
広報戦略立案・PR展開
地場企業と連携した情報発信・イベントの実施



## (2) 地域経済への貢献

### 1 スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略 実現への貢献

○スノーリゾートとしてのブランド化を推進し、インバウンドを始めとした観光客の増加及び滞在期間の長期化により冬期の観光消費拡大を目指す「スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略」。大都市でありながら身近な雪体験ができ、雪体験と都市観光の双方のニーズを手軽で効率的な一体型サービスとして提供したいという本戦略において、藻岩山スキー場はその中心的役割を果たすべき場所であることを十分に理解しております。

○札幌市が目指す方向性をしっかりと共有させていただきながら、スノーリゾートシティSAPPORO推進戦略の実現に貢献させていただきます

### 2 雇用創出

○道内企業の連携によるスキー場運営を目指しており、道内企業の雇用維持、創出に貢献できると考えております。

○スキー場で新たに取り組む事業（グリーンシーズン等）により、協力企業、地場企業の雇用維持、創出に貢献できると考えております。

○カツキグループでは毎年100名程度の新入社員を採用しておりますが、本事業によりさらにその雇用数は増えると予想しております。

### 3 地場企業・地域経済への波及効果

○札幌の地場企業と連携してリフト、レストランの運営を行います。また多様な連携イベントを積極的に行い、地場企業の収益向上、発信機会の提供、認知度向上に貢献します。

○グリーンシーズンにおいては、札幌の地場企業との連携イベントはもちろん、札幌市のイベント会場としてもぜひ活用していただきたいと願っており、藻岩山スキー場が地域全体の活力および経済の向上につながるように尽力してまいります。

○藻岩山スキー場への集客が増加することにより、周辺の交通機関、飲食店、宿泊施設、小売店等への経済波及効果が期待できます。

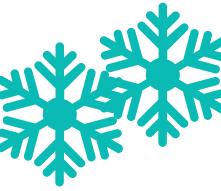
### 4 持続可能な都市づくりへの貢献

○持続的に発展する都市づくりに必要不可欠なサステナビリティへの貢献にもできるかぎり取り組まさせていただきます。温暖化による雪の減少に対処するため造雪機を使って冬季オープン期間の延長に取り組みますが、その造雪に使用する水は溜池の拡張を行い、環境に配慮した形で実施したいと考えております。

※実現に向けては、開発行為のルールを遵守し、関係各所とご相談、調整の上推進いたします。



## 【2.事業計画等】



## (1) 施設リニューアルの考え方

ご提案させていただく施設リニューアルは、「コースレイアウトの変更」「リフトの新設・改修」「ロッジの建て替え」「DX対応」を4つの柱としております。より市民や観光客に使い勝手の良い魅力的なコースレイアウトの見直しを行なった上で、それに付随するリフト位置の変更と新設・改修を行いロッジの建て替え位置や建築内容を検討、それら施設の利便性を高めるためのDX対応までを一貫して行いたいと考えました。

### コースレイアウト変更の考え方

A

- ❑ スノーボード滑走を想定し、滑走の面白さや安全性の面から連結路コースの増幅やコース間の安全で容易な移動を検討
- ❑ 来場者のレベルに合わせて楽しめる魅力的なゾーニングを行う
- ❑ ロープウェイ（中腹駅）との連動等、観光資源としての魅力を向上させるためのレイアウト変更を検討
- ❑ 必要設備・人員の削減によりリフト運営の効率化を図る



### リフトの新設・改修の考え方

B

- ❑ 現在の老朽化したリフトは順次全て改修
- ❑ 乗車人数増、コースへの誘導を考えた改修内容
- ❑ スノーエスカレーターを初心者向けゲレンデに設置。初心者がリフトに乗らなくても安心して練習ができるように検討



### ロッジ建て替えの考え方

C

- ❑ ロッジ位置を変更し建て替えを行い、現状のロッジをシーズン中閉館することなく新ロッジへ移行
- ❑ 顧客、従業員双方の効率的な動線考えた館内レイアウト
- ❑ 窓口1本化による利便性向上（リフト券販売、レンタル、スクール）
- ❑ バリアフリー化対応
- ❑ ロッジからゲレンデへの高低差を解消しストレスフリーのロッジ周りへ



### DX対応の考え方

D

- ❑ 館内Wi-Fi整備
- ❑ 予約・決済システム構築（リフト券、レンタル、スクール）
- ❑ オートゲートシステム導入
- ❑ 電子マネー対応

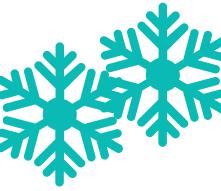


### その他の施設検討案件

E

- ❑ スタジオ・サイネージの整備
- ❑ ロープウェイ中腹駅への連絡通路整備の検討
- ❑ スキー未経験者エリアにスノーエスカレーター設置の検討
- ❑ 造雪機用溜池利用の検討
- ❑ 立体有料駐車場建設の検討
- ❑ 南斜面ロッジリニューアル検討





## コースレイアウト変更案

### ①インバウンド・未経験者向け雪遊びゾーン「Fun×Funスクエア」（仮称）の設置

スキーやスノーボード未経験者でもそり遊びやシットスキーで雪と親しめるゾーンを新設します。

### ②連絡路コースの増幅

スノーボーダーにとっても魅力あるスキー場となるよう、現在の連絡路コースの増幅を関係各所にご相談させていただければと願っております。開発行為を伴いますので可能性の可否を含めてのご相談となります。

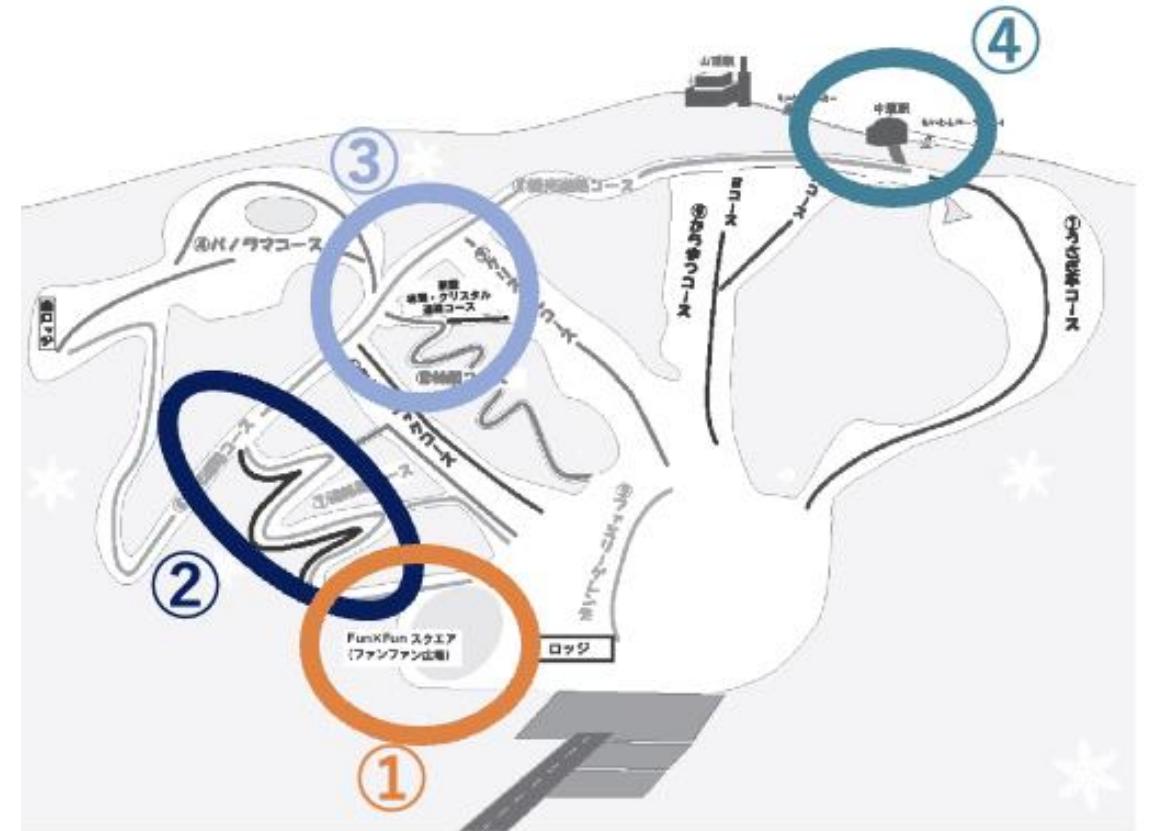
### ③林間・クリスタル連絡コースの新設

現在の林間コースからクリスタルコースに降りることができる連絡コースを新設したいと考えております。この新設により、現第4リフトからクリスタルコースへのアクセスが可能になり、楽しみ方の幅が広がります。

※現在従業員が使用している連絡通路をそのまま整備して使いますが、リフト位置を高くする工事が必要となります。

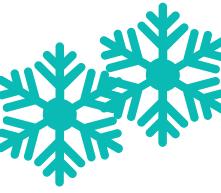
### ④クロスカントリーコースの新設

インバウンド向けに、ロープウェイ中腹駅駐車場を周回するクロスカントリーコースを設けたいと考えております。



シットスキーは座って楽しむスキーで、パラスポーツの一種です。  
シットスキーの貸し出しを行い、新たな体験観光の一つとして楽しんでいただければと考えております。

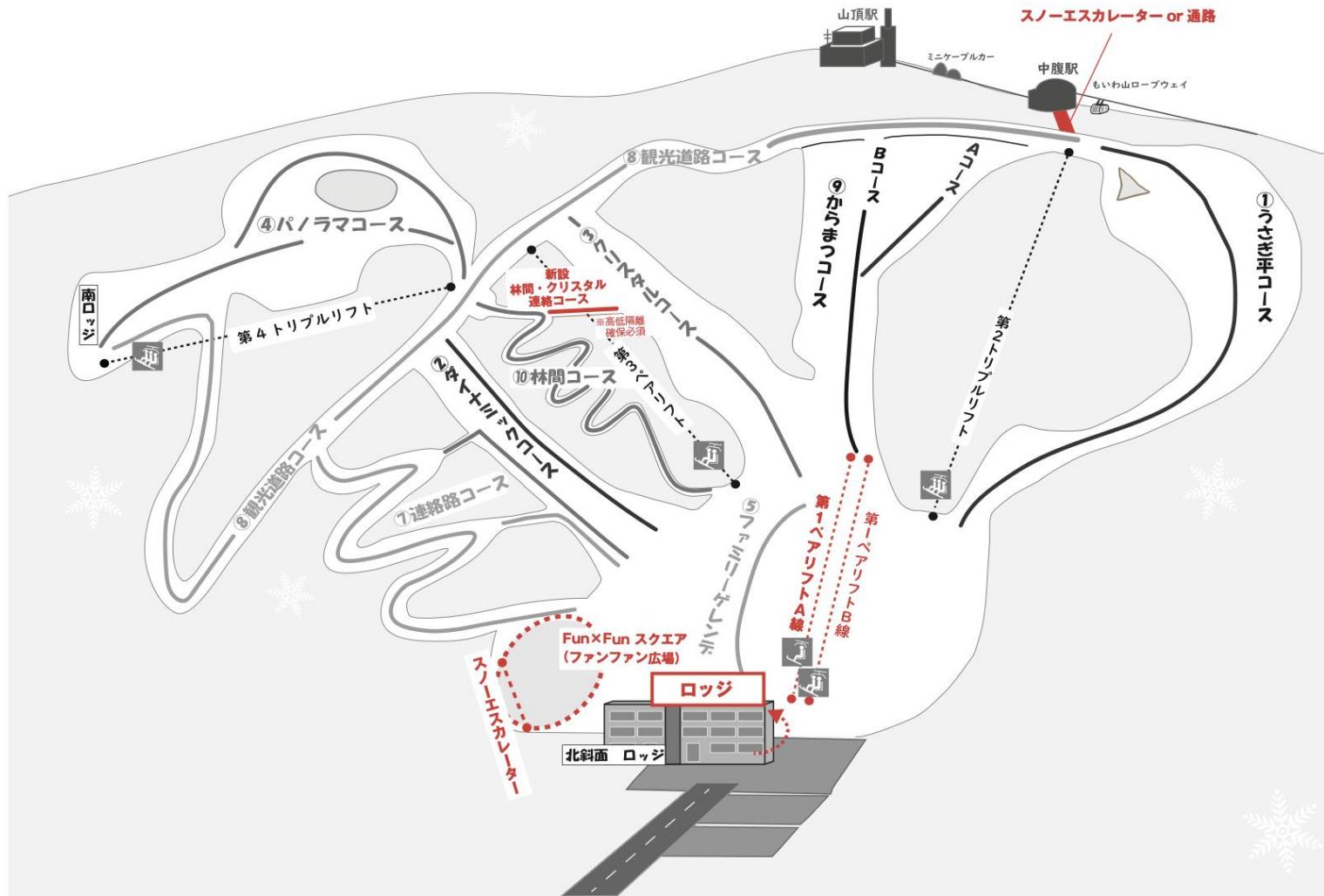
中島公園でも外国人観光客に人気の高いクロスカントリースキーを  
藻岩山でも楽しめるように整備したいと考えております。



## 【2.事業計画等】 (1) 施設リニューアルの考え方

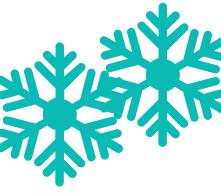
### リフトリニューアル案と想定時期

- 安全性を高めるため、順次全てのリフトを改修して参ります。また、コースレイアウトの変更に伴い、リフト位置の変更や新設を企画しております。



現状	リニューアル予定内容	想定時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1リフトA線</li> <li>・ 第1ペアリフトB線</li> </ul>	改修：機器一新 A線をペアリフト化	2026年12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2トリプルリフト</li> </ul>	改修：機器一新	2026年12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3ペアリフト</li> </ul>	改修：機器一新 リフトの下を滑走できるよう、一部高さを上げる	2027年12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4トリプルリフト</li> </ul>	改修：機器一新	2028年12月
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul>	<b>新設：スノーエスカレーター設置</b> ①第1リフト付近の子ども向けゲレンデに設置予定 ②観光道路からロープウェイ敷地への接続路に設置予定	①2026年12月 ②2027年12月

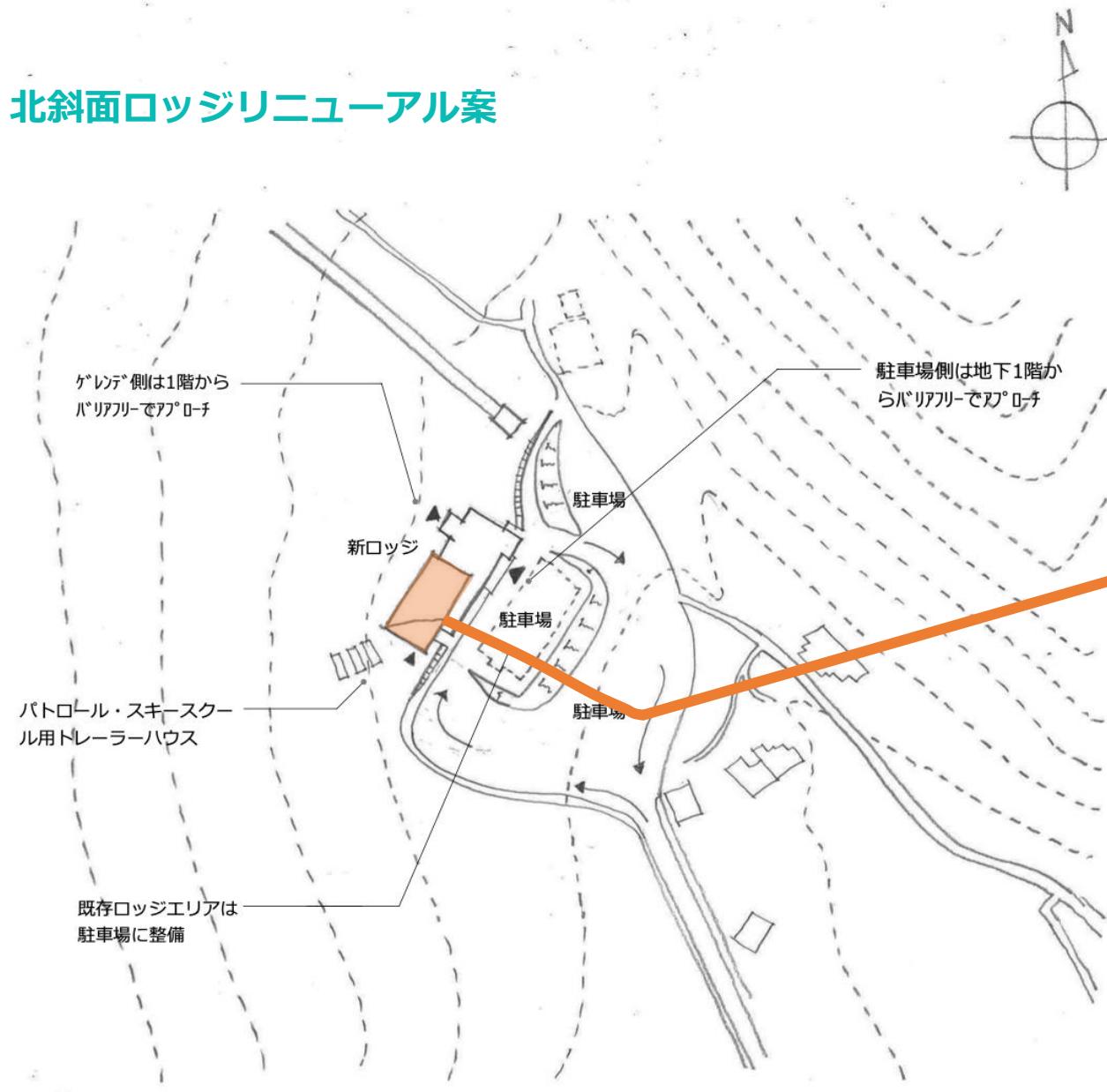
※開発行為に関わる改修が想定される場合は、関係各所とご相談・調整の上、慎重に進めさせていただきます。



## 【2.事業計画等】（1）施設リニューアルの考え方

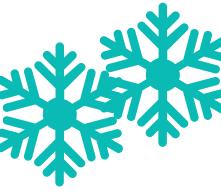
- 北斜面ロッジの建設位置を変更し建て替えを行い、現状のロッジをシーズン中閉館することなく新ロッジへ移行できるように計画しております。
- 新ロッジ建設位置は、現在のロッジから見てゲレンデに隣接する場所を想定しております。  
※開発許可申請が不要の隣接地
- 位置の変更により、ロッジ脇の車寄せの実現やゲレンデとの高低差を無くすバリアフリー化などのメリットも想定しております。

### 北斜面ロッジリニューアル案



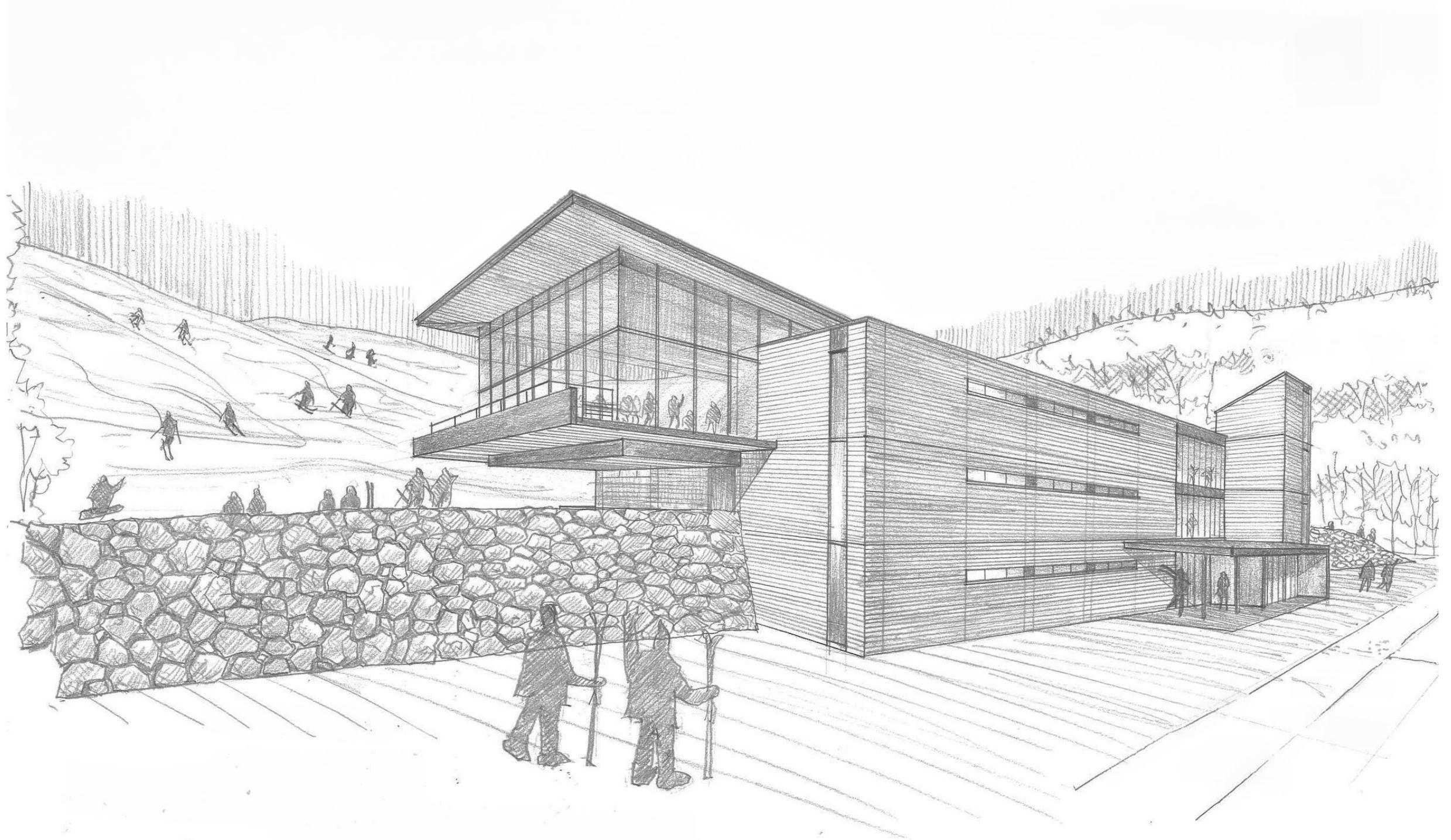
こちらの候補地への建設を想定しております

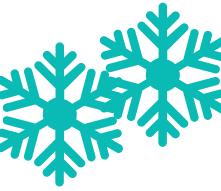




## 北斜面ロッジリニューアルイメージ

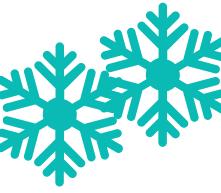
※あくまでも現時点のイメージです。実際のデザイン・施工とは異なる場合がありますのでご了承ください





● 2025年3月に契約締結となった場合の主な予定スケジュール（スノーシーズン関連）

時期	実施ポイント（予定）
2025-2026（1年目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現ロッジでシーズンオープン</li> <li>・新ロッジ設計・施工開始</li> <li>・各種調査</li> <li>・スノーボード解禁</li> <li>・公式サイトリニューアルオープン</li> </ul>
2026-2027（2年目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1リフトA線、B線リニューアルオープン</li> <li>・第2リフトリニューアルオープン</li> <li>・全リフトにオートゲート設置</li> <li>・予約システム一部開始</li> <li>・雪遊びゾーン「ファンファンスクエア」オープン</li> <li>・「ファンファンスクエア」スノーエスカレーターオープン</li> </ul>
2027-2028（3年目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3ペアリフトリニューアルオープン</li> <li>・新ロッジオープン</li> <li>・全予約システム開始（チケット・レンタル・スクール）</li> <li>・中腹駅へのスノーエスカレーターオープン</li> </ul>
2028-2029（4年目）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4トリプルリフトリニューアルオープン</li> </ul>



HOKKAIDOSQUARE  
北海道スクエア株式会社